**履修例１**

　＜被ばく医療コース＞　看護学領域

地域保健看護学分野での履修例

１．対象学生  
当分野に進学を希望する看護系大学を卒業し，5年間保健師として地域看護に従事している者

２．目標進路  
課程修了後，放射線看護の専門的知識・技術を発揮できる分野で保健師として従事することを目標としている。

３．修士論文テーマ：  
『放射線事故発生時における地域住民の健康問題に関する研究』

４．履修科目

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 授　業　科　目 | 1年次 | | 2年次 | | 合計 | 備考 |
| 共通科目 | 放射線防護総論 | 2 | ６ |  | ２ | ８ | 4科目 8単位 |
| 被ばく医療総論 | 2 |  |
| 被ばく医療演習 | 2 |  |
| 保健学研究セミナー | 2 | | |
| 必修科目 | 基礎地域保健看護学特論 | 2 | ４ |  | １０ | １４ | 修士論文 |
| 地域保健看護学特別演習 | 2 |  |
| 地域保健看護学特別研究 |  | 10 |
| 選択科目 | 被ばく医療看護学特論 | 2 | ８ |  |  | ８ | 4科目 8単位以上を選択 |
| 被ばく医療リハビリテーション科学特論 | 2 |  |
| 看護管理学特論 | 2 |  |
| 老年保健看護学特論 | 2 |  |
| 計 | | １８ | | １２ | | ３０ |  |

５．履修内容の説明

保健学系大学の看護学専攻卒業者で，将来，保健師として，放射線看護の専門的知識・技術が求められる分野に従事することを希望する学生が選択する履修例を示している。

修士論文では，放射線事故に伴う地域住民の健康問題に関する研究をテーマに，身体健康問題だけでなく，心理的・社会的側面から明らかにすることを目的とした研究を進める。

　　そのためには，保健学共通科目の必修1科目2単位を履修するとともに，放射線防護総論，被ばく医療総論，被ばく

医療演習の3科目計6単位を履修する。必修科目においては基礎地域保健看護学特論，地域保健看護学特別演習，地域保

健看護学特別研究の3科目14単位を履修する。選択科目として被ばく医療看護学特論，被ばく医療リハビリテーショ

ン科学特論，看護管理学特論，老年保健看護学特論の4科目8単位を履修し，総計30単位を履修する。